

ēlo



ユーザー マニュアル
2201L タッチモニター

SW601368 Rev H

Copyright © 2018 ELO Touch Solutions.無断複写・転載を禁じます。

事前に ELO Touch Solutions の書面による許可を得ないで、本書のいかなる部分を電子、磁気、光学、化学、手動など(但し、必ずしもこれらに限定されない)で複製、送信、転写、情報検索システムに記録、あるいはいかなる言語あるいはコンピューター言語への翻訳などは、いかなる形態あるいはいかなる方法でも禁止されています。

責任放棄声明

この文書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。ELO Touch Solutions では本書の内容に関して明言あるいは保証はしません。ELO Touch Solutions は、時折本書記載内容を改訂あるいは変更する権利を有しており、その際、ELO Touch Solutions などいかなる者にもそのような改定あるいは変更に関する通知をする責任はありません。

登録商標承認

AccuTouch、ELO Touch Solutions、IntelliTouch、および(ロゴ)は ELO Touch Solutions の関連会社およびそのライセンサーの商標です。Windows はマイクロソフト株式会社関連会社の商標です。本書記載のその他の製品名は各社の商標または登録商標です。ELO Touch Solutions は当社の商標以外に権利を主張することはありません。

もくじ

第1章 - はじめに.....	4
第2章 - インストール.....	5
第3章 - 取り付け.....	9
第4章 - 操作.....	10
第5章 - 技術サポート.....	14
第6章 - 安全&保守.....	15
第7章 - 規制情報.....	16
第8章 - 保証内容.....	19

第1章 – はじめに

製品詳細

お買い上げのタッチモニターはELO Touch Solutionsの信頼できるタッチ技術と表示設計の最新技術を兼ね備えています。このような機能を組み合わせることによりユーザーとタッチモニター間で情報を自然にやりとりすることができます。

このタッチモニターは24ビットカラー、アクティブマトリックス薄膜トランジスタ(TFT)LCDパネルを使用し、最高のディスプレイ性能を提供しています。フルHD解像度(1920x1080)は、高解像度の画像の表示に適しています。LEDバックライトは電力消費量を大きく減らし、水銀を使用しておりません。(CCFLバックライトパネルと比較した場合)。このLCDモニターの性能的な他の特徴にはプラグアンドプレイ互換性と本体内蔵スピーカー、ヘッドホン出力機能、オンスクリーンディスプレイ(OSD)の制御、およびウェブカメラや磁気ストライプのカード読み取り装置を含む周辺機器があります。

事前注意事項

装置の寿命を延ばしたり、安全に使用するためには、本ユーザー・マニュアルの推奨事項であるすべての警告、予防装置、保守に従ってください。詳細は、安全&保守の章をご覧ください。

本マニュアルには、装置の適切な設定や保守に関する重要な情報が記載されています。お客様のタッチモニターを設定したり電源をオンにする前に、本マニュアルをよくお読みください。特に、インストールや取り付け、操作の章は注意してお読みください。

第2章 – インストール

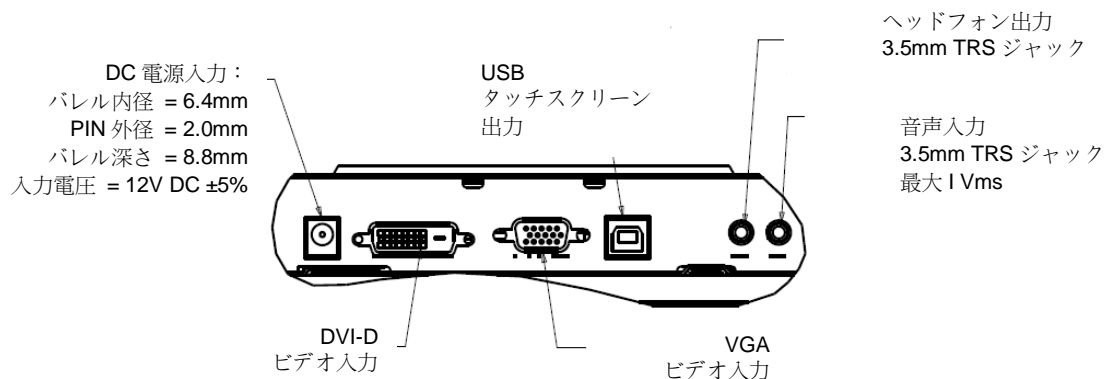
タッチモニターの開梱

梱包箱を開けて、以下の品目があるか確認してください。

- 保護シート付きタッチモニター
- タッチツールCD
- クイックインストールガイド
- 日本語注意書きパンフレットDVIケーブル
- VGAケーブル
- USB ケーブル
- オーディオケーブル
- AC-DC電源アダプタ
- 日本用電源ケーブル(PSE)
- 日本電源ケーブル用3ピン-2ピン変換アダプター(PSE)

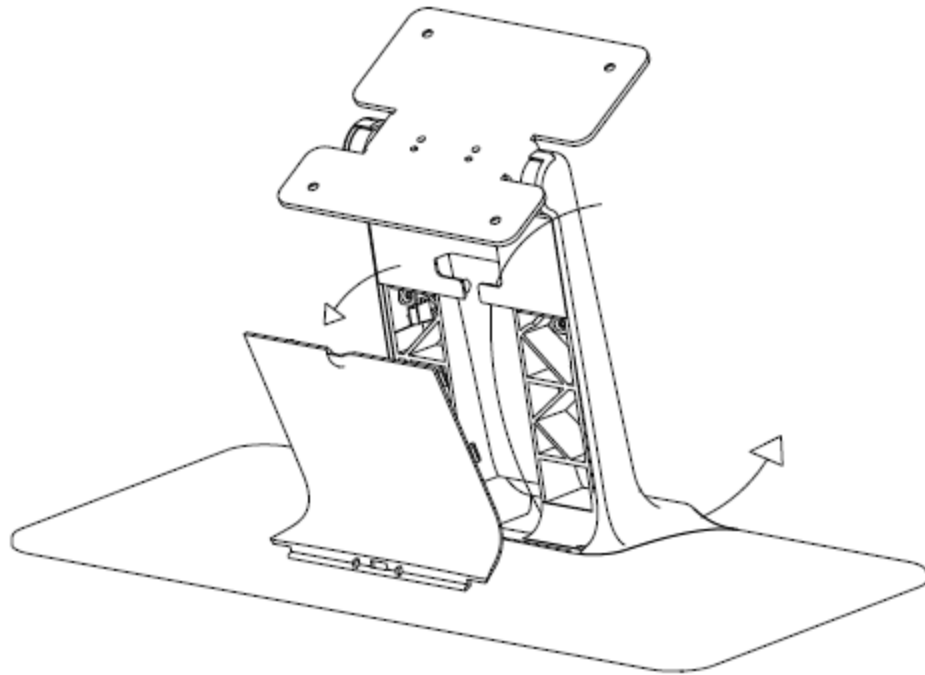
コネクタパネル/インターフェース

ケーブルは、装置の裏面のケーブルカバーを外し、タッチモニターのコネクタパネルに接続ください。



タッチモニターの接続

1. モニターのDVI/VGA入力コネクタとDVI/VGAビデオソースをそれぞれ、DVIまたはVGAビデオケーブルにより接続してください。最高の性能を維持するために、ビデオケーブルのネジを締めてください。
2. モニターのUSBコネクタとPCのUSBポートをUSBタッチケーブルと接続してください。
3. モニターの音声入力ジャックと音声源を音声ケーブルで接続してください。
4. AC電源とAC-DCアダプタの電源入力コネクタを接続してください。電源アダプタのDC出力コネクタをモニターの入力電源ジャックと接続してください。
5. ご希望の場合、ケーブルはスタンド内に収めることができます。スタンドケーブルカバーを取り外しケーブルを収納したら元に戻してください。



6. タッチモニターはオフの状態でお届けされますので、電源ボタンを押してオンにしてください。

タッチ技術ソフトウェアドライバのインストール

お持ちのコンピュータとiTouch Plus が作動するにはソフトウェアをインストールしなければならない場合があります。投影型静電容量タッチモニターを Windows 7 または 8 オペレーティングシステムで使用する場合、Windows HID ドライバを使用しますので、追加ドライバは不要です。

最新のタッチドライバをダウンロードするには

1. www.elotouch.com/Support/Downloads/Driver/DriverDownload/Default.aspx にアクセスします
2. 「Operating System (オペレーティングシステム)」ドロップダウンメニューで、オペレーティングシステムを選択します。」
3. 「Technologies (技術)」ドロップダウンメニューで技術を選択します。
4. ご利用のタッチモニターに必要なドライバをクリックします。
5. 「Driver License Agreement (ドライバの使用許諾契約)」ページが表示されたら、「Accept (同意する)」をクリックします。
6. あなたのメールアドレスを入力して「Next Step (次のステップ)」をクリックします。ドライバのダウンロードが自動的に開始されます。
7. 新規ユーザーの場合は、必要な情報を記入し、「Register (登録)」をクリックします。ドライバのダウンロードが自動的に開始されます。

第3章 – 取り付け

取り付けに関する一般情報

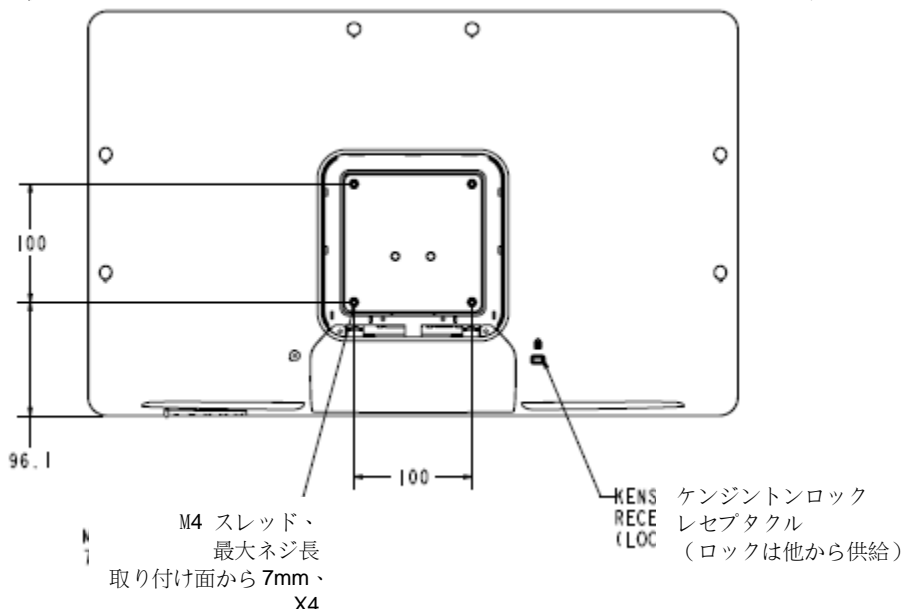
OSDテキストは、取り付けの位置によく合うようにOSDメニュー内で移動することができます。

タッチモニターケースの側面や上面の孔は換気用ですので、通風孔をふさいだり、物を挿入したりしないでください。

背面VESAMOUNT

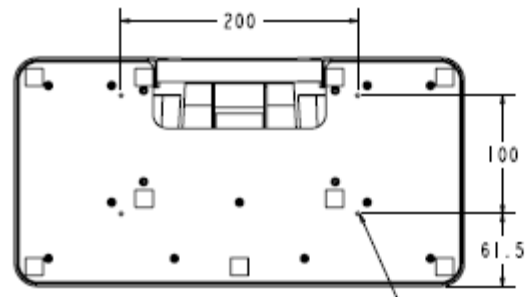
モニターの背面にはM4ネジでの取付のために100x100mmの穴が4個あります。プラスドライバーを使ってスタンドを取り外し、取付インターフェースにアクセスできるようにしてください。VESA FDMI準拠の取り付けにはVESA MIS-D、100、Cのコードがあります。

唯一のULで使用するためにウォールマウントブラケットまたは同等のものを上場。



スタンドの取り付け

ネジスルーホールは取り付けや安全のためにスタンドベースの下部にあります。



M4 T M4 スレッド、金属面から最大ネジ深さ
META 7mm、X4

第4章 – 操作

省電力

タッチモニターの電源をオン/オフにするには、タッチモニターの電源ボタンを押します。

タッチモニターの下部にある電源ステータスLEDは以下の表のように機能します：

タッチモニター/コンピュータモジュールの状況	LED状況
OFF(オフ)	OFF(オフ)
SLEEP(スリープ)	PULSING(点滅)
ON(オン)	ON(オン)

システムが休止またはオフモードの場合は、低消費電力です。電力消費仕様についての詳細は、Elo社ウェブサイト：<http://www.elotouch.com> あるいは<http://www.tps.co.jp> の技術仕様をご参照ください。

画面にタッチすると、ホストPCをSLEEP(スリープ)モードから復帰させます(マウスを動かしたりキーボードのキーを押したりするのと同様)。

信頼性を増し無駄な消費電力を減らすに、長い間使用しない場合は電源アダプタからAC電源ケーブルを外してください。

タッチ

お買い上げいただいたIntelliTouch Plusは工場出荷時に較正されており、手動で較正する必要はありません(入力ビデオがネイティブ解像度に完全に設定されていない場合、あるいは特定ユーザーに対して較正する必要がある場合を除く)。

IntelliTouch Plus タッチ技術

Windows 7コンピュータに接続の場合、タッチモニターは2点同時タッチに反応します。

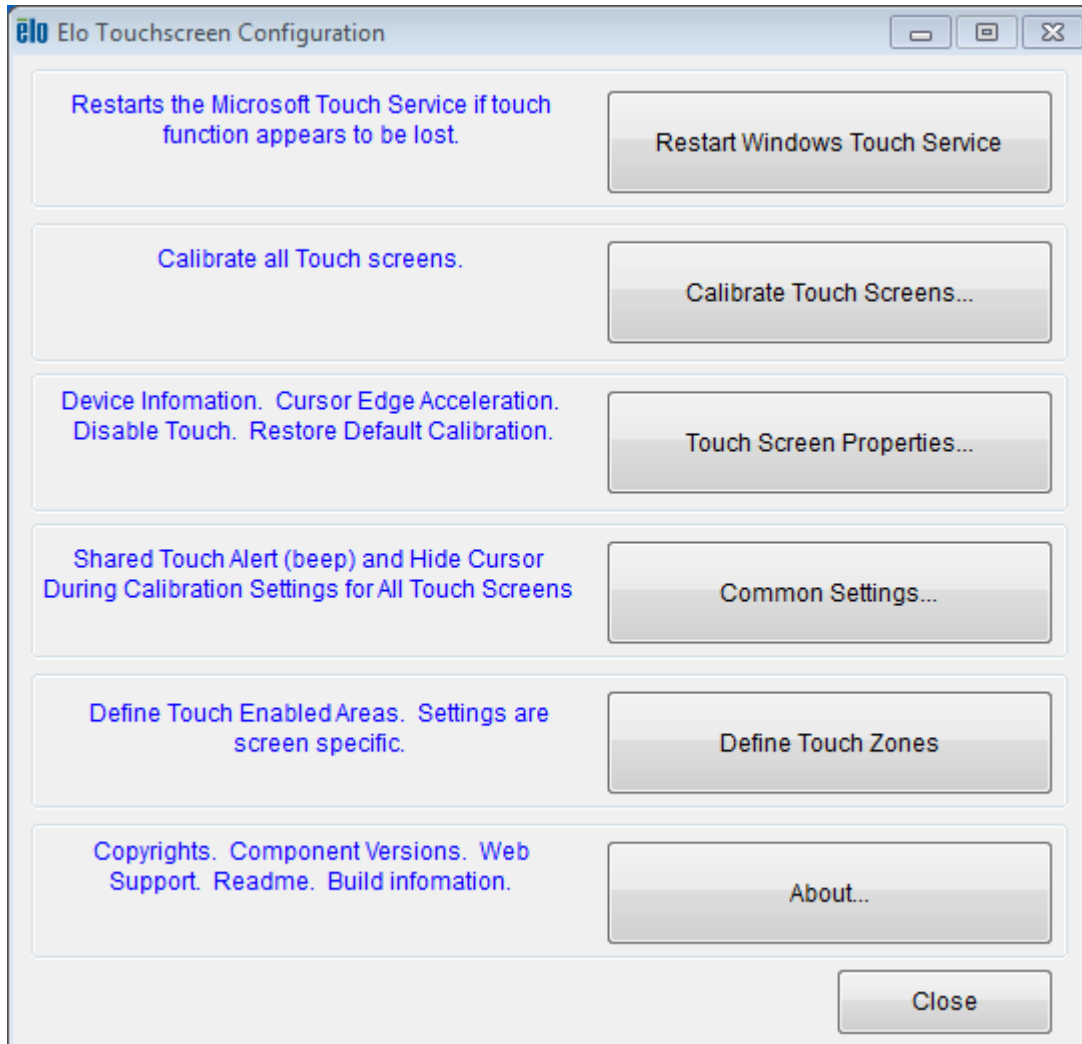
IntelliTouch Plus タッチスクリーンは必要な場合は、Eloドライバコントロールパネルの較正機能を通して表示のビデオ画像に合わせて再較正できます。

IntelliTouch Plus ドライバはIntelliTouch Plus タッチ技術を使っていれば複数のモニターのみに対応します。

IntelliTouch Plus モニターを複数使用するには、デスクトップ上のショートカットEloConfigをダブルクリックしてElo Touchscreen構成スクリーンを開きます。



「Match Touch to Display… (タッチと一致して表示)」を選択して複数のモニターを校正します



投影型静電容量タッチ技術

Windows 7 または 8 のコンピュータに接続した場合、タッチモニターは、10 件の同時タッチを

報告することができます。Windows XPコンピュータと接続すると、タッチモニターは1回のタッチ

に反応します。

Windows HID ドライバを使用するので、この技術が作動するために追加ドライバは必要ありません

。Windows XP 用のタッチドライバをダウンロードする手順については、第 2 章の「Installing the Touch Technology Software Drivers (タッチ技術ソフトウェアドライバのインストール)」のセクションを参照してください。

この技術には較正は必要ありません。ジェスチャーのサポート

IntelliTouch Plus および投影型静電容量タッチ技術によって1回タッチや複数回タッチに対応する複数のジェスチャーが可能になります。Windows 7が対応するさまざまなジェスチャーについては、Microsoft のウェブサイト <http://msdn.microsoft.com/en-us/library/dd940543> を参照してください。

ビデオ

表示のネイティブ解像度は縦と横の寸法を画素数で表示しています。一般的に、最高の性能をお楽しみいただくためには、このモニターのネイティブ解像度 1920x1080 ビットとコンピューターの出力解像度が一致すると、最も良い状態で表示画像をご覧いただけます。

ネイティブ解像度以外のコンピューター出力解像度の場合、モニターはパネルのネイティブ解像度にビデオを拡大します。このためには、入力画像を必要に応じて X 軸と Y 軸の寸法を拡大・縮小することで表示のネイティブ解像度を調整します。コンピューターの出力ビデオ画像をモニターの表示に合うように拡大する場合、拡大アルゴリズムによる副作用は必至であり、画像忠実度が失われます。近距離で高解像度の画像を見ると、画像忠実度の損失が最も顕著に現われます（例えば、フォントが小さな文字が入っている画像など）。

タッチモニターのビデオ調整は必要ありません。しかし、アナログVGAビデオの場合は、タッチモニターの表示画像質を最適化するにはビデオ(グラフィック)カード出力の変化によってOSDを通してユーザーは調整が必要になる場合があります。これらの調整はタッチモニターが「記憶」します。調整することによってタッチモニターの表示画像の質が最適化されます。これらビデオモードのプリセットのリストに関しては、<http://www.elotouch.com>で本モニターの技術仕様をご参照ください。

オンスクリーンディスプレイ(OSD)

モニターの下部にOSDボタンが4つあります。これらのボタンは表示パラメーターをさまざまに調整するために使用します。



ボタンとその機能は以下のとおりです。

ボタン	OSD(オンスクリーンディスプレイ)が表示されていないときの機能	OSD(オンスクリーンディスプレイ)が表示されているときの機能
メニュー	OSDメインメニューを表示	前のOSDメニューに戻る
◀	OSDの色/輝度のサブメニューを表示	選択パラメーターの値を減少/ 前のメニューを選択
▶	OSDオーディオサブメニューを表示	選択パラメーターの値を増加/ 次のメニューを選択
選択	ビデオソースサブメニューを表示	調節するパラメーターを選択 入力するサブメニューを選択

OSDボタンを使って、入力ビデオ上に表示される画面上のグラフィカルユーザーインターフェイスを制御し、それによって以下の表示パラメーターを直感的に調整できます。

パラメーター	利用調整
輝度 (Brightness)	モニターの輝度を増減 初期設定: 最大
コントラスト (Contrast)	モニターのコントラストを増減 初期設定: モノクロ諧調の最高性能
クロック(Clock)	パネルのピクセルドットクロックの微調整 VGA入力ビデオのみに利用可能
位相(Phase)	パネルのピクセルドットクロック位相の微調整 VGA入力ビデオのみに利用可能
自動調整 (Auto Adjust)	システムクロックを入力アナログVGA信号に自動調整して、水平位置、垂直位置、クロック、位相メニューに影響 VGA入力ビデオのみに利用可能
水平位置 (H-position)	1ピクセルごとに表示部の水平に画像を移動 初期設定: 中心 VGA入力ビデオのみに利用可能
垂直位置 (V-position)	1ピクセルごとに表示部の垂直に画像を移動 初期設定: 中心 VGA入力ビデオのみに利用可能

アスペクト比 (Aspect Ratio)	<p>フルスケールとアスペクト比維持に切り替える 初期設定:フルスケール</p> <p>フルスケール – 入力ビデオのX軸とY軸寸法(必要に応じて上下)を表示のネイティブ解像度に拡大する アスペクト比維持 – 横方向と入力ビデオのアスペクト比を16:9以下とすると、入力ビデオのY軸寸法を表示Y軸解像度に拡大して、X軸寸法を拡大して入力ビデオのアスペクト比を維持する(残りの表示部分は同等のブラックバーで左右埋める)</p> <p><i>APRタッチスクリーンの機能はフルスケールのみで保証されています。ほかのタッチスクリーン技術はアスペクト比を切り替えるときに較正が必要になる場合があります。</i></p>
シャープネス (Sharpness)	<p>表示画像の鮮明さを調整 初期設定:鮮明調整なし <i>非ネイティブの入力ビデオ解像度でのみ適用されます。</i></p>
色温度 (Color Temperature)	<p>表示の色温度を選択する。利用可能色温度は、9300K、7500K、6500K、5500K、ユーザー定義。ユーザー定義を選択した場合、ユーザーは色温度を0から100のR、G、B利得を変更して変更できる 初期設定:ユーザー定義、R、G、B(すべて100に設定)</p>
OSD タイムアウト (OSD Timeout)	<p>OSDが閉じるまでタッチモニターが待つ、OSDボタンの非活動時間を調整する。調整範囲は5~60秒。 初期設定:15秒</p>
OSD言語 (OSD Language)	<p>OSD情報が表示される言語を選択する。使用可能言語:英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、簡体字中国語、繁体字中国語、日本語 初期設定:英語</p>
OSD回転 (OSD Rotation)	<p>OSD情報が表示される位置を選択する。ご利用できるオプション:0度(横方向)および90度(縦方向) 初期設定:0度(横方向)</p>
取り付け (Mounting)	<p>希望の方向に合わせて、タッチモニターの取り付け方向を縦方向と横方向から選ぶ。これはOSD情報の回転を調整 初期設定:横方向</p>
音量 (Volume)	<p>内蔵スピーカーやヘッドホンの出力量を調整</p>
ミュート (Mute)	<p>オーディオ出力をミュートオンとミュートオフで切り替える 初期設定:ミュートオフ</p>
初期設定 リコール (Recall Defaults)	<p>「リコール初期設定」を選択すると、OSD調整可能パラメーター(OSD言語を除く)やプリセットビデオモードのタイミングを工場出荷時の設定に戻す</p>
ビデオソース (Video Source)	<p>モニターはVGA および DVI コネクターのアクティブビデオをスキャンし続ける。この調整によって、表示される前にどの入力ポートを与えるか選択する オプション:VGA優先度、DVI優先度 初期設定:DVI優先</p>

調整したOSD設定は、すぐに自動的に記憶されます。この機能によって、タッチモニターのプラグを抜い

たり電源をオン/オフにするたびに再設定しなくてもすみます。電力障害があっても、タッチモニターの設定は工場出荷時の仕様に初期設定されません。

OSDおよび電源ロック

[メニュー (Menu)] ボタンと [下 (Down)] ボタンを2秒間押し、OSDロック機能を有効/無効にします。OSDロック機能が有効になると、メニュー、上、下、選択のキーを押してもシステムには何も影響がありません。

[メニュー (Menu)] ボタンと [上 (Up)] ボタンを2秒間押し、電源ロック機能を有効/無効にします。電源ロック機能が有効になると、電源スイッチを押してもシステムには何も影響がありません。

オーディオ

ヘッドホンがヘッドホン出力ジャックに接続している場合、内蔵スピーカーがオフになり、オーディオはヘッドホンに再生されます。

スピーカーやヘッドホンの出力量やミュートはOSDで行います。

仕様：

スピーカ	2W x 2内部スピーカ
オーディオ出力コネクタ	3.5mm TRSジャック
ヘッドホン出力コネクタ	3.5mm TRSジャック
オーディオ入力信号レベル	1Vrms最大ステレオ信号

第5章 – 技術サポート

タッチモニターの不具合が起きた場合は、下記の表を参照してください。

不具合が直らない場合はお近くのディーラーか、タッチパネル・システムズ(株)サポートセンターまでご連絡ください。

よくある問題の解決方法

問題	推奨トラブルシューティング
システムをオンにしてもタッチモニターが起動しない	AC電源ケーブルが正しく接続しているか確認する。 AC電源が機能しているか確認する。
モニターの表示が薄暗い	OSDを使って輝度を増やす。 OSDを使ってコントラストを増やす。
モニターに何も表示されない	電源状態表示LEDが点滅している場合、モニターまたはコンピュータモジュールがスリープモードになっている場合がある。キーを押したり、マウスを動かしたり、タッチスクリーンにタッチして画像が再表示されるか確認する。
モニターに「範囲外」のメッセージが表示される	コンピュータの解像度/タイミングモードを調整して、タッチモニター指定のタイミング範囲になるようにする(仕様についてはウェブサイトをご覧ください)。
タッチ機能が作動しない	PCに最新ELOドライバがインストールされているか確認する 提供された最新ELOドライバで較正手順に従う。

技術サポート

本装置の技術仕様については、www.elotouch.com/products あるいは www.tps.co.jp/products/ をご覧ください。

オンラインのセルフヘルプは、www.elotouch.com/go/websupport をご覧ください。

技術サポートは、www.elotouch.com/go/contactsupport あるいは tpstech@elotouch.com をご覧ください。

技術サポートの電話番号(世界各国)はユーザーマニュアルの最後のページをご覧ください。

第6章 – 安全&保守

安全

感電予防のためには、安全に関する警告に従い、タッチモニターは絶対に分解しないでください。また、ユーザーは修理をしないでください。

タッチモニターケースの側面や上面のスロットは換気用です。通風孔をふさいだり、物を挿入したりしないでください。

お買い上げいただいたタッチモニターには、3線式とアース付き電源コードが付いています。電源コードのプラグはアース付きコンセントのみに適合します。本来の目的に沿って設定されていないコンセントにプラグを差し込まないでください。損傷を受けた電源コードは使用しないでください。ELO Touch Solutions タッチモニターに付いてくる電源コードだけを使用してください。未許可の電源コードを使用すると保証が無効になることがあります。

インストールの際は、技術仕様に記載の特定環境条件を維持するように整備してください。

お手入れ/お取り扱い

タッチモニターが最適レベルで機能するように以下の点に従ってください。

- クリーニングの際は、AC 電源ケーブルを取り外してください。
- 表示ユニットのキャビネットをクリーニングする際には、中性洗剤で軽く湿らせた布を利用してください。
- 装置が濡れないように十分に注意を払ってください。液体をこぼしたり液体が装置の中に入らないように気を付けてください。液体が装置の中に入ってしまった場合は、もう一度電源を入れる前に資格を有するサービス技術者に点検してもらってください。
- スクリーンの表面を傷つけることがあるので、布やスポンジで拭かないでください。
- タッチスクリーンをクリーニングする際は、窓ガラス用洗剤かガラス磨きスプレーを布かスポンジに付けて使用してください。絶対に、タッチスクリーンに洗剤を直接スプレーしないでください。クリーニングの際には、アルコール(メチルやエチル、イソプロピル)、シンナー、ベンジンまたは研磨洗浄剤を使用しないでください。



電気装置および電子装置の破棄(WEEE) 指令



本製品は絶対に、家庭廃棄物と一緒に廃棄しないでください。修理やリサイクルの施設で処理してください。



第7章 – 規制情報

I. 電気安全情報:

コンプライアンスに従って、メーカーのラベルに記載の電圧、周波数、電流など、必ず使用条件を順守してください。規定の電源と異なったものを接続するなど規則に従わない場合、不適切な稼働、装置への損傷、火災の原因となる恐れがあります。

本装置内にはユーザーが修理できる部品はありません。本装置が生じる危険電圧があり、安全上の問題を招く恐れがあります。修理は資格があるサービス技術者のみが行ってください。

インストールについて質問がある場合は、主電源に装置をつなぐ前に資格がある電気技師あるいはメーカーに連絡してください。

II. 放射および電磁波耐性情報

米国内のユーザーに対する通知: 本装置は FCC 規則第 15 章に定められたクラス A デジタル装置に関する規制要件に基づいて所定の試験が実施され、これに適合するものと認定されています。これらの規則要件は、住宅で設置した場合に有害な妨害から妥当に保護するためのものです。本装置は電磁波を発生・使用し、外部に放射する場合があります。指示に従ってインストールし使用しない場合、無線通信の有害な妨害となる場合があります。

カナダのユーザーに対する通知: 本装置はカナダの無線妨害規制で定められたデジタル装置から放出される電波雑音に関するクラス A に適合しています。

欧州連合国内のユーザーに対する通知: 装置所定の電源コードと相互接続ケーブルのみを使用してください。規定のコードやケーブル以外を使用すると下記の規格規定の電気安全、放出あるいは電磁波耐性に関する認証マークを損なう可能性があります。

本情報処理装置 (ITE) はメーカーのラベルに認証マークを貼付するように義務付けられており、下記の指示および基準に従って検査されたことを意味します。本装置は欧州規格 EN 55032 クラス A 記載の「EMC 指示 2014/30/EU」および欧州規格 EN 60950-1 に記載の「低電圧条項 2014/35/EU」に基づいて認証 CE マークの要件に従って検査されました。

すべてのユーザーに対する一般情報: 本装置は無線周波エネルギーを発生・使用し、放射することがあります。本マニュアルに沿って装置をインストール/使用しない場合、無線通信およびテレビ通信の妨害の原因となる場合があります。しかし、地域特有の要因のため、特定のインストールに妨害が起きないとは保証できません。

1) 放射および電磁波耐性の要件を満たすため、ユーザーは必ず下記事項を順守してください。

a) 本デジタル装置とコンピューターを接続する場合は、付属の I/O ケーブルのみを使用してください。

b) 要件を順守するために、メーカー指定のラインコードのみを使用してください。

c) ユーザーは、準拠の責任がある関係者による明示的な承諾なしに、装置の変更または修正をした場合、装置を使用するユーザーの権利が無効になる場合があることについて警告を受けています。

2) 本装置がラジオあるいはテレビ受信、あるいはその他の装置の受信妨害を引き起こす原因であると思われる場合:

a) 装置の電源をオン/オフにして放射元を確認してください。

本装置が妨害の原因になっていると判断した場合、以下の方法で妨害を修正してください。

i) 妨害を受けたレシーバーからデジタル装置を離す。

ii) 妨害を受けたレシーバーに対してデジタル装置を再配置 (向きを変える) する。

iii) 妨害を受けたレシーバーのアンテナの向きを変える。

iv) デジタル装置とレシーバーの分岐回路が異なるようにデジタル装置を違う AC コンセントに差し込む。

v) デジタル装置が使用しない I/O ケーブル電源を切ったり、取り外す(非終端処理 I/O ケーブルは高 RF 放出源の可能性がある)。

vi) デジタル装置を接地コンセントのみに差し込む。AC アダプタープラグを使用しないこと。(接地したラインコードを取り外したり切ったりすると無線周波数の放出レベルを増加する可能性があり、ユーザーに致命的な感電の危険を及ぼす可能性もあります。)

さらに援助が必要な場合は、ディーラー、メーカー、ベテランの無線あるいはテレビ技術者に相談してください。

III. 規格の詳細情報

本モニターは以下の認証を受けています：

オーストラリア RCM

カナダ CUL、IC

中国 CCC

欧州 CE

日本 VCCI

韓国 KCC

メキシコ CoC

台湾 BSMI

米国 FCC、UL

Russia EAC

IV. 中国版 RoHS

中国の法律(電子情報製品による汚染制御管理)に従って、以下の章には本製品に含まれている可能性がある毒物および/あるいは有害物質の名前と量が記載されています。

成分名	毒物、あるいは有害物質および要素					
	鉛(Pb)	水銀(Hg)	カドミウム(Cd)	六価クロミウム(Cr6+)	多臭素化ビフェニル((PBB)	ポリ臭素化ジフェニルエーテル(PBDE)
プラスチック成形品	○	○	○	○	○	○
金属部品	X	○	○	○	○	○
ワイヤー/ケーブル組立品	X	○	○	○	○	○
LCD パネル	X	○	○	○	○	○
タッチスクリーンパネル	X	○	○	○	○	○
PCBA	X	○	○	○	○	○
ソフトウェア(CD、その他)	○	○	○	○	○	○

O: 本成分の均質物質すべてに含まれる毒性あるいは有害物質は SJ/T11363-2006 要件の制限以下であることを示しています。

X: 本成分に使用されている均質物質、少なくともひとつに含まれる毒性あるいは有害物質は SJ/T11363-2006 要件の制限以上であることを示しています。X が付いている品目については欧州版 RoHS に従って免責されます。

印の説明

(1). 要件 SJ/T11364-2006 に従って、電子情報製品は以下の汚染制御ロゴが記載されています。本製品の環境に優しい使用期間は 10 年です。本電子情報製品の使用によって大きな環境汚染や身体的損傷、資産への損害にならないように、製品は以下に記載の通常の動作状態では漏れたり、変化しません。

使用温度: 0~40 度/湿度: 20%~80% (結露なきこと)。

保存温度: -20~60 度/湿度: 10%~90% (結露なきこと)。



(2). 本製品は地元の法律に従ってリサイクル/再利用するように推奨されています。製品を不用意に捨てることがないようにしてください。



V. 電源アダプター仕様

電気定格:

入力: 100~240VAC、50~60Hz

出力: 12VDC、3A 以上、LPS

アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。

又、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行ってください。

VI. モニター仕様

電気定格:

入力: 12VDC、3A

動作状態:

温度: 0°C~40°C

湿度: 20%~80% (結露なきこと)

標高: 0~3,048m

保存状態:

温度: -20°C~50°C

湿度: 10%~95% (結露なきこと)

標高: 0~12,192m

第8章 – 保証内容

特に指定のない限り、あるいは買い手に対する受注承諾がない限り、売り手は製品の材質や仕上がりに欠陥がないことを買い手に保証します。タッチモニター、コンピュータモジュールの保証は3年です。

売り手はモデル部品の寿命についての保証はしません。売り手の供給者はいつでもおよび時折、製品または部品として納品する部品に変更を加える場合があります。

上記の保証に適合する製品の不具合が発見した場合、売り手は買い手に対して迅速に(どのような場合でも発見から30日以内に)書面にて通知しなければなりません。通知には、そのような不具合に関する状況など商用的に適度な詳細を記述しなければなりません。また、可能な場合は、売り手はインストールした製品の検査を行わなければなりません。売り手の書面による指示がない限り、当該製品の保証期間中に売り手は通知を受ける必要があります。そのような通知を送付してから30日以内に、買い手は不良品であるとされている製品を受領時の出荷用ダンボール箱、あるいは機能的に同等のものに梱包して買い手の費用およびリスクで売り手宛に発送しなければなりません。

売り手は、不良品だとされる製品を受け取ってから適当な期間内に上記の保証を満たさない製品であることを検証し、(i) 製品を修正または修理する、または(ii) 製品を交換する のどちらかから選択し、当該不良品を修正しなければなりません。製品の当該修正、修理、または交換、および製品の返品送料(買い手への最低の保険付き)は売り手が負担します。製品発送中に起きる紛失あるいは損傷のリスクは買い手が負い、買い手はその製品に保険をかけることができます。買い手は、売り手が製品が不良品でないことを発見した場合、返品にかかった送料を売り手に払い戻ししなければなりません。製品の変更、修理は売り手のオプションによって行い、売り手の施設か買い手の敷地のどちらかで行います。売り手が製品の修正、修理、または交換して上記の保証を確認できない場合、売り手の判断によって、売り手が定める保証期間の定額を元にした減価償却費を製品の購入価格から差し引いた額を買い手に払い戻しするか、買い手の口座に入金するか、どちらかをしなければなりません。

これらの救済措置は保証不履行が起きた場合の買い手専用の救済措置とします。上記に明示されている保証を除いて、売り手は製品の目的適合性、品質、商品性、権利を侵害していないことなどの点を含む明示または暗示の保証を認めません。売り手の従業員、あるいはいかなる当事者も本書に記載の保証以外は商品の一切の保証をしてはなりません。保証に基づく売り手の負担は製品の購入価格を払い戻しすることに限定します。いかなる場合も売り手は買い手が購入、あるいは取り付けた代替品の価格、あるいは一切の特別な、誘発的、間接的、偶発的な損傷などの責任を負いません。

買い手は危険要素を前提とし、(i) 買い手の製品の使用目的に対する適合性、一切のシステム設計あるいは製図の評価、(ii) 買い手が使用する製品の適用法、規制、規約、標準規格に対する順守の判断、などに関するすべての責任から補償しかつ無害に保つことを補償し同意します。買い手は、売り手が製造、供給した製品、部品を含むあるいは盛り込むすべての保証およびその他の請求に対するすべての責任を保持しかつ受理します。買い手は買い手が認可する製品に関する一切かつすべての言明事項、保証に対する唯一の責任を負います。買い手は売り手を補償し、買い手の製品、言明事項、保証に起因する一切の負債、請求、損失、価格、費用など(妥当な弁護士の料金を含む)同様のものに対して損害を売り手に与えません。

当社のウェブサイトをご確認ください。

www.elotouch.com

以下の最新情報をご覧ください。

- 製品別情報
- 仕様
- 次回イベントに関するお知らせ
- プレスリリース
- ソフトウェアドライバ
- TouchMonitor についてのニュースレター

Elo 社へのお問い合わせ

Elo社のタッチリユースIONに関する詳細については、弊社のウェブサイト
www.elotouch.com をご覧いただくか、最寄のオフィスまでご連絡ください。

北米

Tel 800-ELO-TOUCH
Tel +1-408-597-8000
Fax +1-408-597-8050
customerservice@elotouch.com

欧州

Tel +32(0)(16)704 500
Fax +32(0)(16)704 549
elosales@elotouch.com

アジア太平洋

Tel +86 (21) 3329 1385
Fax +86 (21) 3329 1400
www.elotouch.com.cn

ラテンアメリカ

Tel +1 786-923-0251
Fax +1 305-931-0124
www.elotouch.com.ar

©2015 ELO Touch Solutions, Inc.